

おむすびえほんだより

2018年9月発行

Akiko Aoki

4月から発行してきたおむすびだよりも6回目となりました。毎月新しい絵本との出会いを届けられたらなと思ながら、発行している私が一番楽しんでいるかもしれません。

さて、先日福岡市保育士会が主催した保護者研修会に参加してきました。今回は徳永玲子とVisionsの『絵本と音の玉手箱』という講演会で、KBC テレビやラジオで活躍している徳永玲子さんの絵本朗読に合わせて、ジャズ演奏グループのVisionsが絵本のシーンに合わせた音楽を奏でるというものでした。子ども連れの方もいましたが、朗読中は大人も子どもも徳永玲子さんの朗読やVisionsの演奏に引き込まれ、みんなが絵本の世界にいるような不思議な感覚で、終わった後は絵本の良さを改めて感じ、元気をもらえるそんな講演会でした。徳永玲子さんは、KBC ラジオで毎週日曜9:14から10分間『絵本の時間 おはなしマラソン』を担当しています。こちらぜひ聞いてみてください。

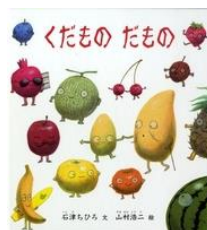
おやおや おやさい

作:石津ちひろ 絵:山村浩二 出版社:福音館書店

野菜たちのマラソン大会のはじまり～！言葉遊びでお話が進んでいきます。思わず、作家さんの言葉選びに「上手いな～」と感心しちゃいます。周りで応援している野菜たちに注目したり、これは何の野菜だろうと見て、聞いて、両方楽しめる絵本です。



こんな絵本もおすすめ

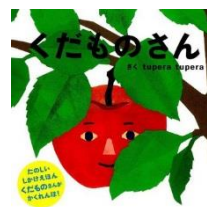
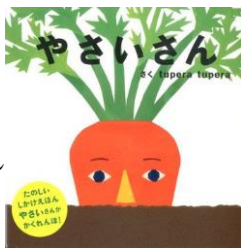


くだものだもの
作:石津ちひろ
絵:山村浩二
出版社:福音館書店

やさいさん

作:ツペラツペラ 出版社:学研

こちらはしかけ絵本です！「すっぽーん」の掛け声とともに次々に野菜たちが土から出てきます。八百屋やスーパーでは葉っぱは切り落とされていることが多いですが、この絵本は本物に忠実なので、普段なかなか見ることが出来ない野菜がどう育つのかも見られるので、そういう意味でもおすすめな一冊。隣で紹介しているくだものさんと一緒にどうぞ☆

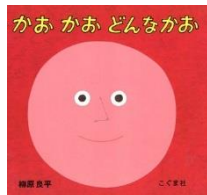


くだものさん
作:ツペラツペラ
出版社:学研

やさいだいすき

作:柳原良平 出版社:こぐま社

「大根1本、人参2本、きゅうり3本…」言葉のリズムが楽しいお話。最後の「ぼくやさいだーいすき！」は、子どもたちから聞きたい言葉ですね。野菜の数え方も知ることが出来るので短いですが、兄弟でも楽しめる一冊ではないでしょうか。



かお かお どんなかお
作:柳原良平
出版社:こぐま社

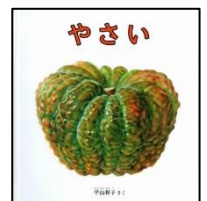
にんじんさんがあかいわけ

作:松谷みよ子 絵:ひらやませいぞう 出版社:童心社

「なんで人参は赤いの？」と聞かれたらどう答えますか？そんな時は、ぜひこのお話を読んであげてはどうでしょう。人参・大根・ごぼうがお風呂に入りに出かけるところからお話はスタート。さて、どうなるか…続きは見てからの楽しみ！



やさいのおなか
作:きうちかつ
出版社:福音館書店



やさい
作:平山和子
出版社:福音館書店